

## ⇒ 調査報告 ‹

# 地方中核市における社会関係資本の実態に関するアンケート調査報告<sup>1</sup>

—— 香川県高松市を対象として ——

芦田 登代・鷺見 英司・澤村 明

## 1. 本質問紙調査の概要

本調査は、2010年から香川県で実施されてきた「瀬戸内国際芸術祭<sup>2</sup>」が社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）と呼ばれる人々のつながりや地域に与えた影響を学術的に調べることを目的としている。「瀬戸内国際芸術祭」は、2010年から3年に1度、「海の復権」をテーマに掲げられた現代アートの祭典で、岡山県と香川県に跨る瀬戸内海の12の島と2つの港で開催されている。島々の人口が減少し、地域の活力が低下していく中、地域振興を目指して開催されているもので、島めぐりやアート鑑賞、そして地元の住民と観光客との交流が生まれるようなイベントが実施されている。2019年に開催された瀬戸内国際芸術祭の来場者数は、約117万8千人であり、香川県内における経済波及効果は180億円と推計されている<sup>3</sup>。

本調査は株式会社インテージに調査の実施を委託して、2020年6月10日から15日にかけてオンライン調査を行った。表1に調査概要を示したとおり、対象はモニターとして登録している高松市に居住の男女7,608名、有効回答数は1,030名（回収率13.5%）であった。回答時間平均値は8分31秒、回答時間中央値は6分4秒である。

表2の(a)と(b)には、それぞれ2020年の国勢調査における調査対象地域（香川県高松市）の性別・年齢別人口割合、本調査回答者の性別・年齢別割合を示している。本調査対象者の年齢別の割合は、男女計でみると実際よりも、20歳代と70歳代は6%ポイント程度、80歳代以上は10%ポイント程度サンプルが過少であり、50歳から60歳代では6%ポイント程度過大であった。特に40歳代のサンプルが過多（10.2%ポイント）であり、女性ではこの傾向が強く14.0%ポイントが多かった。性別の割合でみると、男性が52.7%、女性が47.3%で、国勢調査（男性47.4%・女性52.6%）の人口割合と比べて5%ポイント程度、男性が多かった。

本調査は、地域社会に対する意識や社会参加、信頼、つきあいの程度、互酬性といったソーシャル・キャピタルに関する設問、家族や親戚および友人との付き合いに関する設問、「瀬戸

<sup>1</sup> 本研究は JSPS 科研費18H00923Hの助成を受けたものである。本調査にご回答頂いた対象地域の住民の皆様にご感謝申し上げます。

<sup>2</sup> 瀬戸内国際芸術祭2022, <https://setouchi-artfest.jp/>, (2021-12-27閲覧)

<sup>3</sup> 『瀬戸内国際芸術祭2019総括報告』<https://setouchi-artfest.jp/files/about/archive/report2019.pdf>, (2021-12-27閲覧)

内国際芸術祭」に関する設問，そして個人属性に関する設問で構成されている。設問1は，社会参加（地域の共同活動・ボランティア活動・趣味活動），信頼（一般的信頼・特定信頼），つきあいの程度（ネットワーク），互酬性や地域愛着，設問2では家族，親族および友人との関係を示すボンディング型ソーシャル・キャピタルを調査している。

本稿の構成は次のとおりである。第2節では，2-1節において回答者属性，2-2節では，ソーシャル・キャピタルと瀬戸内国際芸術祭に関する集計結果をまとめた。第3節では，本調査の主な結果についてまとめた。なお，文末に本アンケート調査票を掲載している。

表1. アンケート調査の概要

回答期間	2020年6月10日～6月15日	
調査対象	インテージ社登録モニターにおける高松市在住の20歳以上の男女	
依頼数	7,608	調査を依頼した対象者数
有効回答数	1,030	集計対象とする有効回答の対象者数
回収率	13.5%	(有効回答数/依頼数)
回答時間中央値	00:06:04	有効回答者の回答時間をソートした時，中央に位置する値 (時:分:秒)
回答時間平均値	00:08:31	有効回答者が回答完了までに要した時間の平均値 (時:分:秒)

表2. 調査対象者の性別・年齢別の人口割合

(a) 高松市の性別・年齢別の割合(国勢調査)

	人 口 (人)			年代別比率		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
20歳代	18,491	9,339	9,152	11.0%	11.8%	10.4%
30歳代	22,720	11,297	11,423	13.6%	14.2%	12.9%
40歳代	31,381	15,510	15,871	18.7%	19.5%	18.0%
50歳代	27,989	13,977	14,012	16.7%	17.6%	15.9%
60歳代	24,684	11,863	12,821	14.7%	14.9%	14.5%
70歳代	24,765	11,178	13,587	14.8%	14.1%	15.4%
80歳代以上	17,603	6,228	11,375	10.5%	7.8%	12.9%
計	167,633	79,392	88,241	100.0%	100.0%	100.0%

(注) 総務省統計局「令和2年国勢調査」人口等基本集計に基づく2020年10月1日時点の人口。

(b) 本調査対象者の性別・年齢別の割合

	調査回答者数(人)			年代別比率		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
20歳代	54	16	38	5.2%	2.9%	7.8%
30歳代	148	52	96	14.4%	9.6%	19.7%
40歳代	298	142	156	28.9%	26.2%	32.0%
50歳代	232	143	89	22.5%	26.3%	18.3%
60歳代	209	131	78	20.3%	24.1%	16.0%
70歳代	84	55	29	8.2%	10.1%	6.0%
80歳代以上	5	4	1	0.5%	0.7%	0.2%
計	1,030	543	487	100.0%	100.0%	100.0%

2. 集計結果

本調査の一次集計の結果は、表3と表4に示すとおりである。

2-1. 回答者属性

回答者の属性は、性別、年齢、職業、住宅所有状況、婚姻関係、子どもの人数、同居している家族、居住年数、学歴、個人・世帯年収、居住時期および従前居住地について質問した。これらの回答者の属性の集計結果は、表3にまとめた。

(1) 性別

男性が52.7%、女性が47.3%であった。

(2) 年齢

最頻値は40歳代の28.9%、次に50歳代22.5%、60歳代20.3%と続く。表2(a)の国勢調査では、最頻値が40歳代18.7%、そして次に50歳代16.7%、70歳代14.8%、60歳代14.7%であった。国勢調査と本調査のサンプルの分布を比較すると、本調査では40～60歳代が70%程度占めており(国勢調査では50.1%)、一方、20歳代は国勢調査より半分程度、80歳代以上では(国勢調査の)5%程度の割合であった。

(3) 職業

民間企業・団体の勤め人が36.1%で最頻値であり、次に臨時・パート勤め人16.3%、無職13.3%、専業主婦・主夫13.2%であった。

(4) 住宅所有関係

持ち家・戸建てが59.6%で最頻値、次いで賃貸・アパート13.6%であった。

(5) 婚姻関係

既婚者が70.4%、未婚者が18.7%、死別・離別者が10.9%であった。

## (6) 子どもの数

2人が最頻値で35.9%，次いで0人が33.1%，1人17.7%であった。

次に、回答者の同居人数などの居住関係については以下のとおりであった。

## (7) 同居人数

2人暮らしが37.0%で最も多く、次いで、3人が23.5%，1人暮らし17.1%，4人が15.9%であった。

## (8) 同居家族

配偶者が67.4%で最頻値であり、次いで子ども39.6%，自分の親14.7%であった。

## (9) 居住年数

「今住んでいる地域（集落・町内）に現在まで何年住んでいますか。（合計で）」という質問に対して、30年以上が最頻値で28.6%，次いで10～20年未満が21.5%であった。

## (10) 学歴

大学までが最頻値で42.2%，次いで、高校までが28.5%，専門学校・短大23.9%であった。

(11) 「あなたは、現在お住いの地域（市町村）にどの世代から住んでいますか。」という質問に対して、「自分の代から」59.6%，「両親の代から」18.3%，「祖父母の代から」10.2%であった。

(12) 現在お住いの地域（市町村）に「自分の代から」「両親の代から」と回答した人に対して、「以前の居住地はどこですか。」と質問したところ、68.1%の人が「県内の他の市町村」と回答した。次いで、県外28.8%，分からない3.12%であった。

## (13) 居住地

回答者の居住地を市中心部（市役所の出先機関内に属さない本庁直轄地域）と、それ以外を郊外部（支所もしくは出張所いずれかの管内に属しているところ）として分類したところ、市中心部20.3%，郊外部79.7%であった。

最後に、回答者の収入に関わる設問については以下の通りであった。

## (14) 個人年収

個人年収は200万以上－300万円未満が最頻値で14.0%，次いで300万円以上-400万円未満の人が13.1%，100万円以上－200万円未満の人が11.9%であった。答えたくないと回答した人は12.0%であった。

## (15) 世帯年収

世帯年収の最頻値は300万円以上－400万円未満が12.9%，次いで400万円以上－500万円未満11.1%，200万円以上-300万円未満10.4%であった。答えたくないと回答した人は16.3%であった。

## (16) 主な稼ぎ手

主な稼ぎ手は、回答者自身と回答した割合が最も多く61.0%であった。次いで、配偶者

30.9%、子ども1.6%であった。その他と回答した人は1.8%だった。

(17) 生計を同一にしている人数

「設計を同一にしているのはあなたを含めて何人ですか」という設問に対して、2人と回答した人が最頻値で39.3%、次いで3人21.0%、1人18.4%であった。

表3. 回答者属性

		回答数	回答割合(%)
(1) 性別	男性	543	52.7
	女性	487	47.3
	計	1,030	100.0
(2) 年齢	20歳代	54	5.2
	30歳代	148	14.4
	40歳代	298	28.9
	50歳代	232	22.5
	60歳代	209	20.3
	70歳代	84	8.2
	80歳代以上	5	0.5
	計	1,030	100.0
(3) 職業	自営業、またはその手伝い	79	7.7
	民間企業・団体の経営者	30	2.9
	民間企業・団体の勤め人	372	36.1
	公務員・教員	86	8.4
	臨時・パート勤め人	168	16.3
	学生	5	0.5
	無職	137	13.3
	専業主婦・主夫	136	13.2
	その他	17	1.7
	計	1,030	100.0
(4) 住宅所有状況	持ち家・戸建て	614	59.6
	持ち家・マンション	126	12.2
	賃貸・戸建て	29	2.8
	賃貸・マンション	111	10.8
	賃貸・アパート	140	13.6
	その他	10	1.0
	計	1,030	100.0
(5) 婚姻関係	既婚	725	70.4
	未婚	193	18.7
	離別・死別	112	10.9
	計	1,030	100.0
(6) 子ども数	0人	341	33.1
	1人	182	17.7
	2人	370	35.9
	3人	114	11.1
	4人	19	1.8
	5人以上	4	0.4
	計	1,030	100.0

		回答数	回答割合(%)
(7) 同居人数	1人(一人暮らし)	176	17.1
	2人	381	37.0
	3人	242	23.5
	4人	164	15.9
	5人	49	4.8
	6人以上	18	1.8
	計	1,030	100.0
(8) 同居家族 [多重回答]	配偶者	694	67.4
	子ども	408	39.6
	子どもの配偶者	8	0.8
	孫・ひ孫	10	1.0
	祖父母	8	0.8
	自分の親	151	14.7
	配偶者の親	24	2.3
	自分の兄弟姉妹	35	3.4
	配偶者の兄弟姉妹	3	0.3
	その他	13	1.3
	同居家族なし	161	15.6
	回答者計	1,030	100.0
(9) 居住年数	2年未満	97	9.4
	2年～5年未満	118	11.5
	5年～10年未満	146	14.2
	10年～20年未満	221	21.5
	20年～30年未満	153	14.9
	30年以上	295	28.6
	計	1,030	100.0
(10) 学歴	中学校	22	2.1
	高校	293	28.5
	専門学校・短大	246	23.9
	大学	435	42.2
	大学院	30	2.9
	答えたくない	4	0.4
	計	1,030	100.0
(11) 居住時期	自分の代から	614	59.6
	両親の代から	188	18.3
	祖父母の代から	105	10.2
	それ以前から	103	10.0
	わからない	20	1.9
	計	1,030	100.0

		回答数	回答割合(%)
(12) 従前居住地	県内の他市町村	546	68.1
	県外	231	28.8
	海外	0	0.0
	わからない	25	3.1
	計	802	100.0
(13) 居住地	市中心部	209	20.3
	郊外部	821	79.7
	計	1,030	100.0
(14) 個人年収	50万円未満	111	10.8
	50万円以上-100万円未満	63	6.1
	100万円以上-200万円未満	123	11.9
	200万円以上-300万円未満	144	14.0
	300万円以上-400万円未満	135	13.1
	400万円以上-500万円未満	96	9.3
	500万円以上-600万円未満	58	5.6
	600万円以上-700万円未満	50	4.9
	700万円以上-800万円未満	42	4.1
	800万円以上-900万円未満	27	2.6
	900万円以上-1,000万円未満	16	1.6
	1,000万円以上-1,500万円未満	30	2.9
	1,500万円以上-2,000万円未満	5	0.5
	2,000万円以上	6	0.6
	答えたくない	124	12.0
計	1,030	100.0	
(15) 世帯年収	50万円未満	24	2.3
	50万円以上-100万円未満	13	1.3
	100万円以上-200万円未満	64	6.2
	200万円以上-300万円未満	107	10.4
	300万円以上-400万円未満	133	12.9
	400万円以上-500万円未満	114	11.1
	500万円以上-600万円未満	86	8.4
	600万円以上-700万円未満	68	6.6
	700万円以上-800万円未満	52	5.1
	800万円以上-900万円未満	60	5.8
	900万円以上-1,000万円未満	39	3.8
	1,000万円以上-1,500万円未満	76	7.4
	1,500万円以上-2,000万円未満	16	1.6
	2,000万円以上	10	1.0
	答えたくない	168	16.3
計	1,030	100.0	

		回答数	回答割合(%)
(16) 主な稼ぎ手	自分	628	61.0
	配偶者	318	30.9
	子	16	1.6
	父	35	3.4
	母	14	1.4
	祖父母	0	0.0
	その他	19	1.8
	計	1,030	100.0
(17) 生計人数	1人	189	18.4
	2人	405	39.3
	3人	216	21.0
	4人	171	16.6
	5人以上	49	4.8
	計	1,030	100.0

## 2-2. 集計結果

ここでは、(a)地域社会に対する意識、ソーシャル・キャピタル、(b)家族や親せきとの付き合いおよび(c)瀬戸内国際芸術祭に関する集計の結果をまとめた。集計結果は表4に示すとおりである。

### (a) 地域社会に対する意識、ソーシャル・キャピタル

問1は、地域共同活動、ボランティア及び趣味・スポーツ活動等への参加、信頼（一般的信頼・特定信頼）、近所つきあい、互酬性、地域に対する愛着といったソーシャル・キャピタルに関する設問である。集計結果は以下の通りである。

- (1) 「現在、あなたは、地域共同活動（集会所の清掃、神社や寺の管理、行事の運営等）にどの程度参加していますか。」という設問に対して、「まったく参加しない」が最頻値で29.7%、次いで「可能な範囲で参加」26.7%、「あまり参加しない」23.2%であった。
- (2) 「ボランティアや市民活動」への参加について、最頻値は「まったく参加しない」が44.8%、次いで「あまり参加しない」33.4%であった。
- (3) 「スポーツや趣味、学習などの活動」は、「可能な範囲で参加」が32.0%で最頻値であり、次いで、「あまり参加しない」31.0%、「まったく参加しない」30.4%であった。
- (4) 「あなたは、一般的に、他人を信頼できますか。」は、「ある程度信頼できる」66.5%が最頻値で、次いで「ほとんど信頼できない」14.6%、「信頼できる」12.8%であった。「とても信頼できる」が0.8%で著しく低かった。
- (5) 「あなたは、一般的に、同じ地域（集落や町内）の人々を信頼できますか。」については、「ある程度信頼できる」63.8%が最頻値で、次いで「ほとんど信頼できない」16.6%、「信頼できる」13.0%であった。特定信頼についても、「とても信頼できる」が0.8%で著しく低かった。
- (6) 「地域（集落や町内）内のつきあいの程度」は、「あいさつ程度のつきあい」が最頻値で



61.8%であった。次いで、「日常的に立ち話をするつきあい」23.2%であった。

- (7) 「地域（集落や町内）内のつきあいの人数」については、「地域の少数の人」が57.0%で最頻値、次いで、「地域の人とほとんど面識・交流がない」30.5%であった。
- (8) 「あなたが住んでいる地域（集落や町内）にとって利益になることのために、あなたの時間や労力を提供するよう求められた場合、あなたはどうしますか。」という設問に対して、「どちらでもない」57.4%が最頻値であり、次いで「賛成」32.2%であった。
- (9) 「あなたの住む地域（集落や町内）に愛着がありますか。」は、「ある程度愛着」45.4%、次いで「どちらでもない」28.2%、「あまりない」13.8%であった。

#### (b) 家族や親せきとの付き合い

次は、回答者の家族・親戚や友人との関係について質問した。集計結果は以下のとおりである。

- (1) 「家族と買い物や外食に行く頻度」は、「週に1回～月に数回程度」が41.7%で最頻値、次いで「週に数回以上」22.5%、「月に1回～年に数回程度」22.1%であった。
- (2) 「家族との地域（集落や町内）活動」の程度については、「まったく参加していない」42.1%が最頻値、次いで「年に1回～数年に1回程度」28.6%、「月に1回～年に数回程度」25.0%であった。
- (3) 「親戚」の有無については、「同じ市町村にいる」50.2%が最頻値、「他の市町村にいる」33.7%、「親戚はいない」14.0%であった。
- (4) 「親戚との付き合い」については、「たまに会って食事や話をするようなつきあい」が最頻値で43.6%、次いで「互いに相談したり協力したりするようなつきあい」25.4%であった。

#### (c) 瀬戸内国際芸術祭

最後に、2010年から当地域で行われてきた、「瀬戸内国際芸術祭」に関する考えの集計結果を以下に示す。

- (1) 「過去、現在問わず、芸術祭とはどのような「関わり」がありますか。」という質問には、「作品やイベントの見学」が29.8%、次いで、「勤務先の仕事」6.3%であった。「これまで関わりなし」は、54.7%であった。
- (2) (1)の設問で、「関わりがあった」と回答した人に対して、「関わりをもつきっかけ」について質問した。その結果、「興味があった」が47.5%で最頻値であった。次いで、「家族に誘われた」19.3%、「勤務先の仕事」18.0%であった。
- (3) 「芸術祭開催前の準備期間中、準備にどの程度参加しましたか」について、「年に数回程度」8.8%、次いで「月に数回程度」6.2%であった。「準備には参加していない」は過半数を占めており、78.2%であった。
- (4) 「瀬戸内国際芸術祭」と関わりがあると回答した人に対して「開催期間中の参加頻度」を質問すると、「期間中に数回程度」が最頻値で15.0%、次いで「期間中に1回程度」11.6%であった。

- (5) 作品見学を含めて「瀬戸内国際芸術祭」と関わりを持った回答者に対して、関わりを持った時期を質問すると、「第3回(2016年)」が最も多く45.6%、「第4回(2019年)」41.9%であった。
- (6) 「芸術祭のアート作品は地域の伝統・歴史を反映していると思いますか。」については、「どちらともいえない」51.1%が最頻値で、次いで「(反映している)と思う」32.8%、「(反映している)思わない」16.1%であった。
- (7) 「瀬戸内国際芸術祭」がもたらした地域の新しい魅力については、「経済効果」50.3%が最も多く、次いで「地域住民の来訪者との交流」39.5%、「アート作品」34.1%、「地域住民とアーティストとの交流」32.2%であった。
- (8) 「芸術祭が今後も継続されることについてどう思いますか。」については、「賛成する」70.2%が最頻値で、次いで「どちらともいえない」25.1%であり、「賛成しない」が4.8%であった。

表4. 集計結果

(a) 地域社会に対する意識, ソーシャル・キャピタル

		回答数	回答割合(%)
(1) 地域共同活動	積極的に参加	33	3.2
	可能な範囲で参加	275	26.7
	あまり参加しない	239	23.2
	まったく参加しない	306	29.7
	地域活動自体ない	177	17.2
	計	1,030	100.0
(2) ボランティア活動	積極的に参加	19	1.8
	可能な範囲で参加	206	20.0
	あまり参加しない	344	33.4
	まったく参加しない	461	44.8
	計	1,030	100.0
(3) 趣味活動	積極的に参加	68	6.6
	可能な範囲で参加	330	32.0
	あまり参加しない	319	31.0
	まったく参加しない	313	30.4
	計	1,030	100.0
(4) 一般的信頼	とても信頼できる	8	0.8
	信頼できる	132	12.8
	ある程度信頼できる	685	66.5
	ほとんど信頼できない	150	14.6
	まったく信頼できない	55	5.3
	計	1,030	100.0
(5) 特定信頼	とても信頼できる	8	0.8
	信頼できる	134	13.0
	ある程度信頼できる	657	63.8
	ほとんど信頼できない	171	16.6
	まったく信頼できない	60	5.8
計	1,030	100.0	
(6) つき合いの程度	生活面で協力	33	3.2
	日常的な立ち話	239	23.2
	あいさつ程度	636	61.8
	なし	122	11.8
	計	1,030	100.0
(7) つき合いの人数	ほとんどの人	17	1.7
	半分程度の人	112	10.9
	少数の人	587	57.0
	面識なし	314	30.5
	計	1,030	100.0

		回答数	回答割合(%)
(8) 互酬性	賛成	332	32.2
	どちらでもない	591	57.4
	反対	107	10.4
	計	1,030	100.0
(9) 地域愛着	とても愛着	76	7.4
	ある程度愛着	468	45.4
	どちらでもない	290	28.2
	あまりない	142	13.8
	全くない	54	5.2
	計	1,030	100.0

## (b) 家族や親戚とのつきあい

		回答数	回答割合(%)
(10) 家族との買い物	週に数回以上	232	22.5
	週に1回～月に数回程度	429	41.7
	月に1回～年に数回程度	228	22.1
	年に1回～数年に1回程度	62	6.0
	まったく出かけない	79	7.7
	計	1,030	100.0
(11) 家族との地域活動	週に数回以上	7	0.7
	週に1回～月に数回程度	37	3.6
	月に1回～年に数回程度	257	25.0
	年に1回～数年に1回程度	295	28.6
	まったく参加しない	434	42.1
	計	1,030	100.0
(12) 親戚	同じ市町村にいる	517	50.2
	他の市町村にいる	347	33.7
	親戚はいない	144	14.0
	不明・わからない	22	2.1
	計	1,030	100.0
(13) 親戚つきあい	相談・協力	219	25.4
	たまに会う	377	43.6
	あいさつ程度	151	17.5
	全くない	117	13.5
	計	864	100.0

(c) 瀬戸内国際芸術祭について

		回答数	回答割合(%)
(1) 芸術祭への関わり [多重回答]	これまで関わりは全くない	563	54.7
	作品やイベントの見学	307	29.8
	勤務先の仕事	65	6.3
	こえび隊 <sup>4</sup> への協力	15	1.5
	地域での芸術祭関連行事への協力	29	2.8
	資産の貸与（土地・家屋・資材等）	5	0.5
	作品管理	6	0.6
	来訪者への作品案内	8	0.8
	アーティストの作品制作への協力	11	1.1
	ワークショップへの参加	12	1.2
	その他	5	0.5
	現在は関わりなし	100	9.7
		回答者計	1,030
	回答数計	1,126	109.3
(2) 関わりのきっかけ [多重回答]	町内会や集落で頼まれた	34	7.3
	勤務先の仕事	84	18.0
	友達に誘われた	71	15.2
	家族に誘われた	90	19.3
	行政の担当者に誘われた	20	4.3
	作家に誘われた	14	3.0
	こえび隊に誘われた	5	1.1
	興味があった	222	47.5
	その他	20	4.3
		回答者計	467
	回答数計	560	119.9
(3) 芸術祭準備 参加頻度	週に数回以上	5	1.1
	週に1回程度	10	2.1
	月に数回程度	29	6.2
	数か月に1回程度	17	3.6
	年に数回程度	41	8.8
	準備には参加していない	365	78.2
		回答者計	467

<sup>4</sup> 瀬戸内国際芸術祭でのボランティアスタッフは「こえび隊」と呼ばれている。「瀬戸内国際芸術祭サポーター」  
<https://www.koebi.jp/>（2021-12-28閲覧）

		回答数	回答割合(%)
(4) 芸術祭期間 参加頻度	ほぼ毎日	3	0.6
	週に数回以上	11	2.4
	週に1回程度	11	2.4
	期間中に数回程度	70	15.0
	期間中に1回程度	54	11.6
	活動には参加していない	318	68.1
	回答者計	467	100.0
(5) 関わり時期 [多重回答]	第1回(2010年)	49	30.6
	第2回(2013年)	61	38.1
	第3回(2016年)	73	45.6
	第4回(2019年)	67	41.9
	回答者計	160	100.0
	回答数計	250	156.3
(6) 伝統の反映	思う	338	32.8
	どちらともいえない	526	51.1
	思わない	166	16.1
	回答者計	1,030	100.0
(7) 芸術祭の魅力 [多重回答]	何もない	126	12.2
	アート作品	351	34.1
	地域住民同士の交流	229	22.2
	地域住民とアーティストとの交流	332	32.2
	地域住民とこえび隊との交流	92	8.9
	地域住民と来訪者との交流	407	39.5
	経済効果	518	50.3
	その他	7	0.7
	回答者計	1,030	100.0
	回答数計	2,062	200.2
(8) 開催の継続	賛成する	723	70.2
	どちらともいえない	258	25.1
	賛成しない	49	4.8
	回答者計	1,030	100.0

### 3. まとめ

本質問紙調査の集計の主な結果をまとめると、以下の通りである。

第1に、回答者の年齢構成は、実態の年齢構成と比較すると40-60歳代が多い一方で、20歳代と80歳代以上が少なかった。特に80歳代以上に至っては実際の5%程度であり、実態を反映しているとは言い難い。国民のインターネットの利用率は高く、総務省の「通信利用動向調査」(2019)では80歳代以上でもネット利用が約57%<sup>5</sup>であったことから、モニター登録の状況が大きく影響を受けた可能性が高い。

第2に、ソーシャル・キャピタルについてみると、ブリッジング型ソーシャル・キャピタルに分類される「スポーツや趣味活動」への参加は比較的ポジティブな回答(「可能な範囲で参加」)の割合が高かった。一方で、本調査と同様の質問を瀬戸内の離島で行ったところ<sup>6</sup>、「地域共同活動」「ボランティア活動」の参加が高かった。調査法が異なるので、一概に比較はできないものの、本調査の回答とは異なる結果が得られている。また、信頼については、一般的信頼、特定信頼ともに高い水準であった。ボンディング型ソーシャル・キャピタルとされる町内の付き合いの程度や人数は、前者は「あいさつ程度の付き合い」、後者は「少数の人」の割合が最も多かった。「互酬性」や「地域への愛着」はポジティブな回答が過半数を占めた。

第3に、ボンディング型ソーシャル・キャピタルに分類される「家族との付き合い」や「買い物や外出等に出かける頻度」は高い水準であるのに対して、「地域活動への参加」は低かった。「親戚とのつきあい」を見ると、「互いに相談したり協力したりするようなつきあい」25.4%、「たまに会って食事や話をするようなつきあい」43.6%であり、親戚との関係から測られるボンディング型ソーシャル・キャピタルの方も高かった。一方で、離島で実施した調査も、ほぼ同様の傾向ではあったが、離島では「親戚とのつきあい：互いに相談したり協力したりするようなつきあい」の方は約55%であり、市内での調査よりも濃密な関係が伺われた。

第4に、「瀬戸内国際芸術祭」については、これまで全くかわりのない人が半数を占め、約30%の人が作品やイベントの見学をしていた。芸術祭に関わりをもったきっかけは、「興味があったから」が最も多く、「勤務先の仕事」「友人に誘われた」「知人に誘われた」も多かった。さらに、芸術祭がもたらした地域の新しい魅力には「経済効果」との回答割合が最も高く、「地域住民と来訪者の交流」「地域住民とアーティストとの交流」を挙げる回答も多く、「何もない」というネガティブな評価はわずかであった。今後の芸術祭の継続についても、「賛成」との回答が約70%程度を占めていた。

以上のことから、香川県高松市を対象とした社会関係資本に関する調査結果から、ブリッジ

<sup>5</sup> 総務省「情報通信白書」<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/html/nd252120.html> (2021-12-28閲覧)

<sup>6</sup> 鷺見・芦田・澤村(2021). 離島における社会関係資本の実態に関する質問紙調査報告: 香川県離島地域を対象として(朱継征教授退職記念号). 新潟大学経済論集(110), 99-118.

ング型ソーシャル・キャピタルはどちらかといえば中程度、信頼やボンディング型ソーシャル・キャピタルも高水準であった。地域への愛着も「ある程度愛着がある」と回答する割合が最も多く、居住地に対するポジティブな意識が確認される。

瀬戸内国際芸術祭には、半数程度の人に関わりを持っていないと回答する一方で、経済効果や地域住民との交流があることを評価しており、今後の継続にも好意的であることが確認された。



## 【アンケート調査票】

### 問1 地域社会や生活全般に関する意識について

地域社会や生活全般に対するあなた自身の意識についてお聞きします。あてはまるものを一つ選んでください。

(1) 現在、あなたは、地域共同活動(集会所の清掃、神社や寺の管理、行事の運営等)にどの程度参加していますか。

1. 積極的に参加
2. 可能な範囲で参加
3. あまり参加しない
4. まったく参加しない
5. 地域活動自体ない

(2) 現在、あなたは、ボランティア活動や市民活動などにどの程度参加していますか。

1. 積極的に参加
2. 可能な範囲で参加
3. あまり参加しない
4. まったく参加しない

(3) 現在、あなたは、スポーツや趣味、学習などの活動にどの程度参加していますか。

1. 積極的に参加
2. 可能な範囲で参加
3. あまり参加しない
4. まったく参加しない

(4) あなたは、一般的に、他人を信頼できますか。

1. とても信頼できる
2. 信頼できる
3. ある程度信頼できる
4. ほとんど信頼できない
5. まったく信頼できない

(5) あなたは、一般的に、同じ地域(集落や町内)に住む人々を信頼できますか。

1. とても信頼できる
2. 信頼できる
3. ある程度信頼できる
4. ほとんど信頼できない
5. まったく信頼できない

(6) 地域(集落や町内)の人とのつきあいはどの程度ありますか。

1. 互いに相談するなど、生活面でも協力し合うようなつきあい
2. 日常的に立ち話をするつきあい
3. あいさつ程度のつきあい
4. つきあいはまったくしていない

(7) あなたがつきあいや交流をしている地域(集落や町内)の人はどれくらいいますか。

1. 地域のほとんど全ての人
2. 地域の半分程度の人
3. 地域の少数の人
4. 地域の人とほとんど面識・交流がない

(8) あなたが住んでいる地域(集落や町内)にとって利益になることのために、あなたの時間や労力を提供するよう求められた場合、あなたはどうしますか。

1. 賛成する
2. どちらでもない
3. 反対する

(9) あなたの住む地域(集落や町内)に愛着がありますか。

1. とても愛着がある
2. ある程度愛着がある
3. どちらともいえない
4. あまり愛着がない
5. まったく愛着がない

(10) 家族と買い物や外食などにどの程度出かけますか。全員一緒でなくても構いません。

1. 週に数回以上
2. 週に1回～月に数回程度
3. 月に1回～年に数回程度
4. 年に1回～数年に1回程度
5. まったく出かけない

(11) 家族と地域(町内)活動にどの程度参加されていますか。全員一緒でなくても構いません。

1. 週に数回以上
2. 週に1回～月に数回程度
3. 月に1回～年に数回程度
4. 年に1回～数年に1回程度
5. まったく参加しない

(12) 親戚はいますか。

1. 同じ市町村に住む親戚がいる
2. 他の市町村に住む親戚がいる
3. 親戚はいない
4. 不明・わからない

(13) 親戚の人との付き合いはどの程度ありますか。

1. 互いに相談したり協力したりするようにつきあい
2. たまに会って食事や話をするようにつきあい
3. あいさつする程度のつきあい
4. ほとんどつきあいはしていない

## 問2 瀬戸内国際芸術祭について

2010年から本地域で行われてきた、「瀬戸内国際芸術祭」に対するあなた自身の考えをお聞きます。答えにくい設問は無理に答えていただくなくても結構です。

(1) あなたは、瀬戸内国際芸術祭とどのような「関わり」がありますか(過去, 現在問わず)。

※あてはまるものすべてを選んでください。

1. これまで関わりは全くない
2. 作品やイベントの見学
3. 勤務先の仕事
4. ボランティアへの協力
5. 地域での芸術祭関連行事への協力
6. 資産(土地・家屋・資材等)の貸与
7. 作品管理
8. 来訪者への作品案内
9. アーティストの作品制作への協力
10. ワークショップへの参加
11. その他(具体的に )
12. 過去には関わりがあったが、現在は関わりがない

(2) 瀬戸内国際芸術祭との「関わり」をもつことになった「きっかけ」を、次の中から選んでください。 ※あてはまるものすべてを選んでください。

1. 町内会や集落で仕事を頼まれたから
2. 勤務先の仕事だから
3. 友達に誘われたから
4. 家族に誘われたから
5. 行政の担当者に誘われたから
6. 作家に誘われたから
7. こえび隊に誘われたから
8. 興味があったから
9. その他(具体的に )

- (3) 芸術祭開催前の準備期間中、あなたは芸術祭の活動にどの程度参加していましたか。
1. 週に数回以上
  2. 週に1回程度
  3. 月に数回程度
  4. 数か月に1回程度
  5. 年に数回程度
  6. 準備には参加していない
- (4) 芸術祭の開催期間中、あなたは(作品見学以外の)芸術祭の活動にどの程度参加していましたか。
1. ほぼ毎日
  2. 週に数回以上
  3. 週に1回程度
  4. 期間中に数回程度
  5. 期間中に1回程度
  6. 活動に参加していない
- (5) いつ(作品見学以外の)芸術祭との「関わり」をもちましたか。 ※あてはまるものすべてを選んでください。
1. 第1回(2010年)
  2. 第2回(2013年)
  3. 第3回(2016年)
  4. 第4回(2019年)
- (6) 芸術祭のアート作品は開催地域の伝統・歴史を反映していると思いますか。
1. 思う
  2. どちらともいえない
  3. 思わない
- (7) 芸術祭によってもたらされた開催地域の新しい魅力とは何だと思いますか。  
※あてはまるものすべてを選んでください。
1. 何もない
  2. アート作品
  3. 地域住民との交流
  4. 地域住民とアーティストとの交流
  5. 地域住民とこえび隊との交流
  6. 地域住民と来訪者との交流
  7. 経済効果
  8. その他(具体的に )
- (8) 芸術祭が今後も継続されることについてどう思いますか？
1. 賛成する
  2. どちらともいえない
  3. 賛成しない



(11) 居住地についてお聞かせください。

郵便番号 ○○○-○○○○

(12) あなたや家族は、現在お住いの地域(市町村)にどの世代から住んでいますか。

1. 自分の代から 2. 両親の代から 3. 祖父母の代から 4. それ以前から 5. わからない

※現在お住いの地域(市町村)に「自分の代から」「両親の代から」住んでいる方におたずねします。

(13) 以前の居住地・出身地についてお聞かせください。

1. 同一都道府県内の他市町村  
2. 他の都道府県 (具体的に 都・道・府・県)  
3. 海外 (具体的に国名 )  
4. わからない

(14) あなた自身の年収についてお聞かせください。(個人年収)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 50万円未満             | 2. 50万円以上-100万円未満     |
| 3. 100万円以上-200万円未満    | 4. 200万円以上-300万円未満    |
| 5. 300万円以上-400万円未満    | 6. 400万円以上-500万円未満    |
| 7. 500万円以上-600万円未満    | 8. 600万円以上-700万円未満    |
| 9. 700万円以上-800万円未満    | 10. 800万円以上-900万円未満   |
| 11. 900万円以上-1000万円未満  | 12. 1000万円以上-1500万円未満 |
| 13. 1500万円以上-2000万円未満 | 14. 2000万円以上          |
| 15. 答えたくない            |                       |

(15) あなたの世帯の年収についてお聞かせください。(世帯年収)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 50万円未満             | 2. 50万円以上-100万円未満     |
| 3. 100万円以上-200万円未満    | 4. 200万円以上-300万円未満    |
| 5. 300万円以上-400万円未満    | 6. 400万円以上-500万円未満    |
| 7. 500万円以上-600万円未満    | 8. 600万円以上-700万円未満    |
| 9. 700万円以上-800万円未満    | 10. 800万円以上-900万円未満   |
| 11. 900万円以上-1000万円未満  | 12. 1000万円以上-1500万円未満 |
| 13. 1500万円以上-2000万円未満 | 14. 2000万円以上          |
| 15. 答えたくない            |                       |

(16) 主な稼ぎ手はどなたですか。

1. 自分 2. 配偶者 3. (自身または配偶者の)子  
4. (自身または配偶者の)父 5. (自身または配偶者の)母  
6. (自身または配偶者の)祖父母 7. その他

(17) 生計を同一にしているのはあなたを含めて何人ですか。 あなたを含めて( 人)

(18) お住いの地域や本調査に関して、あなたのご意見をご自由にお書きください。